

# 参加者へのご案内とお願い

## I. 参加登録

1. 慶應義塾大学病院11階会場前受付にて行います。

11月3日(土) 8:15～17:00

4日(日) 8:00～15:00

2. 学会参加登録について

	会 員	非会員
事前登録	9,000円	11,000円
当 日	10,000円	12,000円

- 事前参加登録された方へ

10月20日頃に「第17回日本口腔顔面痛学会学術大会プログラム・抄録集」を送付しますので、学会当日忘れずにご持参ください。

学会当日、事前登録者受付でネームカード(「参加証・領収証」)お渡し致します。

- 当日参加登録される方へ

学会当日、当日参加受付にて該当する参加登録費をお支払いください。ネームカード(参加証・領収証)、「第17回日本口腔顔面痛学会学術大会 プログラム・抄録集」をお渡しします。

- 抄録集の販売について

「第17回日本口腔顔面痛学会学術大会 プログラム・抄録集」は、学術大会期間中、総合受付にて1,000円で販売いたします。

注1) ネームカード(参加証)を着用していない方の入場はお断り致します。

注2) 11月3日学会総会と11月4日12:00教育講演3の際に昼食(お弁当と飲み物)を配布します(先着150名分の予定)。満員の際はご了承ください。

3. 情報交換会について

11月3日(土)ポスター発表終了後の18:15～20:00まで第2会場にて情報交換会(軽食、フリードリンク)を開催いたします。総合受付にて参加費2,000円をお支払い下さい。領収書と参加証シールをお渡しいたします。ぜひご参加下さい。

## II. 会 場

メイン会場 【慶應義塾大学病院2号館11階 第1会場】

: 一般口演発表、教育講演、学会総会、シンポジウム、セミナーなど

展示会場 【慶應義塾大学病院2号館11階 第2会場】

: 企業展示、飲料サービス、情報交換会など

ポスター会場【慶應義塾大学病院2号館11階 第2会場前】

: 一般ポスター発表

### Ⅲ. 各種会合の開催日程・会場など

名 称	日 程	時 間	会 場
理 事 会	11月2日(金)	16:00～18:00	慶應義塾大学病院(2号館)11階
評議員会	11月2日(金)	18:30～20:30	カンファレンスルーム (学会本部・講師控え室)
学会総会	11月3日(土)	11:35～12:10	学会第一会場

### Ⅳ. 発表される方へ

患者個人情報に抵触する可能性のある内容は、個人が特定されないように十分留意してください。

#### 1. 口演発表される方へ

1. 一般発表(口演)の発表時間は8分、質疑応答7分、シンポジウム、セミナーは発表時間23分、質疑応答7分です。
2. 演台にタイマーが表示されます。時間厳守でお願い致します。
3. 一般発表(口演)、シンポジウム、セミナー1,2,3の演者はセッションの始まる30分前までに試写受付にお越しいただき、データを提出し、試写・動作確認を完了してください。
4. 試写を終了された方は、発表15分前に各会場の次演者席にお着きください。  
PC 試写受付時間帯  
11月3日(土) 8:30～17:00  
11月4日(日) 8:00～15:00  
※4日の午前中に発表される方は、できるだけ前日の午後にPC受付を済ませてください。  
※発表のためにお預かりしたデータは、学会終了後運営事務局が責任を持って消去致します。
5. 口演発表はPower Pointを用いた発表に限り、一面映写とします。
6. 演題番号と発表者氏名を入れたファイルとしてください。  
(例:口演5-野間、シンポ-3篠田、セミナー2-3大久保)
  - データ持ち込みの場合(Windowsのみ、Macintoshはご自身のPCで発表)
  - データをUSBで提出してください。
  - 使用できるOSはWindowsのみが可能です。  
※Macintoshの方はご自身のPCをご持参ください。
  - 会場および受付にはOS Windows7をご用意しております。
  - アプリケーションソフトはMicrosoft Power Pointをご利用ください。  
※対応可能なバージョン: Ver.2003、Ver.2007、Ver.2010
  - ご使用できるフォント  
※日本語: MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝  
※英 語: Arial・ArialBlack・Century

### 【データ持込みの注意点】

- 発表データは作成したパソコン以外での事前チェックをお願い致します。
- 試写受付にて必ず文字ずれ等、発表データの確認を行ってください。
- 必ずバックアップ用のデータをお持ちくださいますようお願い致します。  
※動画を使用する場合は必ずご自身のPCをご持参ください。

### 8. PC 本体持ち込みの場合

※ノートパソコン (Windows または Macintosh) と電源アダプターを必ずご持参ください。

※コネクタの形状は Mini D-Sub15 ピンに限ります。変換ケーブルが必要な機種をご使用の場合は、必ず変換ケーブルをご持参ください。

※発表中にスクリーンセーバーや省電力モードにならないよう事前に設定をお済ませください。

※発表終了後、パソコンは会場内で返却します。

### 9. 舞台上にレーザーポインタを用意します。

## 2. ポスター(示説) 発表される方へ

1. ポスター発表と質疑応答は、ポスター会場にて11月3日(土)17:00~18:15に行います。
2. ポスター貼付のため、横85cm縦180cmの壁面ボードを用います。貼付のためのマグネットは大会事務局で用意いたします。
3. 演題番号が呈示されたボードに11月3日(土)10時迄に掲示してください。
4. 11月3日(土)17:00~18:15の時間で座長の進行により順次発表、ディスカッションを行います。発表者の先生は、ご自身の演題の前で待機ください。発表時間8分、質疑応答7分です。
5. ポスター撤去は11月4日(日)16:00~17:00までに行ってください。(17時以降も提示されているポスターは事務局にて処分します。)

右の図をご参照ください。

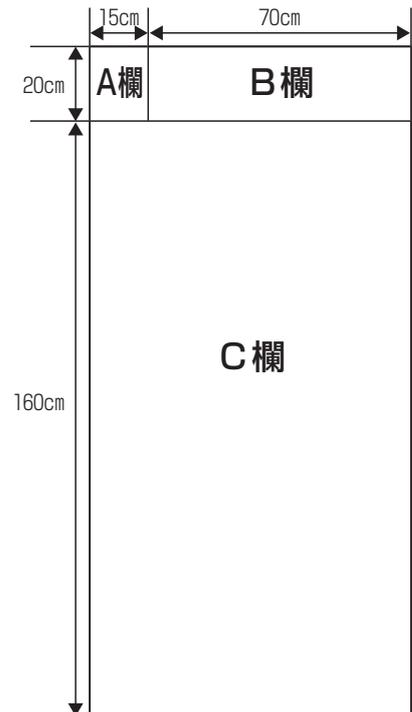
ポスターボードは縦180cm×横85cmです。

A欄には発表者顔写真を掲示して下さい。

(縦20cm×横15cm)

B欄には、演題名、所属、発表者名を提示してください。(20cm×70cm)

C欄(160cm×85cm)には、発表内容を提示してください。



## VI. 口演発表の座長の先生方へ

1. 各セッションの進行は座長にお任せ致します。時間厳守でお願い致します。
2. 座長の先生は、セッション開始予定時間の15分前までに会場の「次座長席」にご着席ください。

## VII. ポスター発表の座長の先生方へ

1. 各セッションの進行は座長にお任せ致します。発表時間8分、質疑応答7分で、時間厳守でお願い致します。
2. 座長の先生は、セッション開始予定時間の5分前までに担当セッションのポスター前で待機下さい。

## VIII. 企業等の展示

1. 日時：1日目(11月3日) 10:00～15:00  
2日目(11月4日) 9:00～14:45
2. 会場：慶應義塾大学2号棟11階 学会第2会場

## IX. プログラム・抄録集の販売について

学会期間中、「第17回日本口腔顔面痛学会学術大会 プログラム・抄録集」は、学術大会期間中、総合受付にて1,000円で販売いたします。

## X. その他

1. 学会場内、病院周囲は全面禁煙ですので、ご協力をお願い申し上げます。
2. クロークの場所、ご利用時間は下記の通りですので、必ず時間内にお引取りください。  
場所：慶應義塾大学2号棟11階 受付横  
時間：1日目(11月3日) 8:30～20:00  
2日目(11月4日) 8:00～16:30
3. 休憩・ドリンクコーナーは第2会場に用意しております。

## XI. お問い合わせ先

### 【大会事務局】

慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 FAX：03-3357-1593

Email：jsop17keio@gmail.com

大会長：和嶋 浩一

準備委員長：村岡 渡

# 日 程 表

**1日目 11月3日(土)**

**2日目 11月4日(日)**

8:30		8:30~10:00	<p><b>セミナー 1</b>  <b>口腔顔面痛教育、研修の実際</b>                  座長：佐久間 泰司 (大阪歯科大学)</p>
9:00	<p>9:00~ <b>開会の挨拶</b></p> <p>9:05~10:20  <b>一般発表 口演 1-5</b>  <b>口腔顔面痛の薬物療法</b>                  座長：今村 佳樹 (日本大学)                  村岡 渡 (慶應義塾大学)</p>		
10:00			
11:00	<p>10:30~11:30  <b>教育講演 1</b>  <b>痛みのメカニズムと薬物療法</b>                  演者：中塚 映政 (関西医療大学疼痛医学分野)                  座長：金銅 英二 (松本歯科大学)</p>	10:15~11:45	<p><b>セミナー 2</b>  <b>口腔顔面痛診査、診断の実際</b>                  座長：瀬尾 憲司 (新潟大学)</p>
12:00	<p>11:35~12:10  <b>学会総会</b></p>		
13:00	<p>12:40~13:40  <b>特別講演</b>  <b>片頭痛 - 神経障害性疼痛としての側面</b>                  演者：鈴木 則宏 (慶應義塾大学医学部神経内科)                  座長：佐々木 啓一 (東北大学)</p>	12:00~12:50	<p><b>教育講演 3</b>  <b>痛みの医療における教育と適切な情報普及の重要性</b>                  演者：柴田 政彦 (大阪大学大学院医学系研究科疼痛医学寄附講座)                  座長：今村 佳樹 (日本大学)</p>
14:00	<p>13:50~14:50  <b>教育講演 2</b>  <b>痛み発現の統合的分子理解</b>                  演者：成田 年 (星薬科大学薬理学教室)                  座長：嶋田 昌彦 (東京医科歯科大学)</p>	13:10~	<p><b>次期大会長挨拶</b> 柿木 隆介 (生理学研究所)</p>
15:00	<p>15:00~16:45  <b>シンポジウム</b>  <b>慢性疼痛におけるグリアの役割</b>                  座長：岩田 幸一 (日本大学)</p>	13:15~16:00	<p><b>セミナー 3</b>  <b>非菌原性歯痛入門</b>                  座長：矢谷 博文 (大阪大学)                  松香 芳三 (徳島大学)</p>
16:00		16:00~	<p><b>閉会の挨拶</b></p>
17:00	<p>17:00~18:15  <b>一般発表 ポスター</b></p>	<p><b>セクション1. 疼痛基礎研究</b>                  座長：篠田 雅路 (日本大学)</p> <p><b>セクション2. 神経障害性疼痛</b>                  座長：椎葉 俊司 (九州歯科大学)</p> <p><b>セクション3. 非菌原性歯痛、心理社会的因子</b>                  座長：築山 能大 (九州大学)</p> <p><b>セクション4. 咀嚼筋障害</b>                  座長：原 節宏 (日本歯科大学)</p>	
18:00	<p>18:15~20:00  <b>情報交換会</b>                  (会場：11階 中会議室 [第2会場])</p>		
19:00			
20:00			

# プログラム 第1日目

2012年11月3日(土)

---

開会の挨拶 9:00～9:05

---

一般発表 口演 9:05～10:20

[ 口腔顔面痛の薬物療法 ]

座長：今村 佳樹(日本大学)、村岡 渡(慶應義塾大学)

## 1 口腔顔面痛外来における薬物療法の実態調査

○西須大徳<sup>1)</sup>、村岡 渡<sup>1)2)</sup>、佐藤 仁<sup>1)</sup>、中川種昭<sup>1)</sup>、和嶋浩一<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室、2) 川崎市立井田病院歯科口腔外科

## 2 口腔顔面領域の疼痛に対するプレガバリンの有効性の臨床的検討

○村岡 渡<sup>1)2)3)</sup>、西須大徳<sup>2)3)</sup>、佐藤 仁<sup>3)</sup>、植野琢也<sup>1)3)</sup>、兵藤朋子<sup>2)</sup>、岡田明子<sup>2)</sup>、大泰司正嗣<sup>2)</sup>、中川種昭<sup>3)</sup>、和嶋浩一<sup>3)</sup>

1) 川崎市立井田病院歯科口腔外科、2) 日野市立病院歯科口腔外科、  
3) 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室

## 3 口腔内特発性疼痛に対する抗うつ薬の有効性

○井川雅子<sup>1)</sup>、山田和男<sup>2)</sup>、池内 忍<sup>1)</sup>

1) 静岡市立清水病院口腔外科、2) 東京女子医科大学東医療センター 精神科

## 4 当センターにおけるトラムセット<sup>®</sup>配合錠の使用状況

○福田謙一<sup>1)</sup>、本田至史<sup>1)</sup>、半田俊之<sup>1)</sup>、一戸達也<sup>2)</sup>

1) 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座歯科麻酔分野／  
東京歯科大学水道橋病院歯科麻酔科・口腔顔面痛みセンター、  
2) 東京歯科大学歯科麻酔学講座

## 5 日本大学歯学部ペインクリニック科における47例の三叉神経痛症例の臨床検討

○野間 昇、中谷有香、森蔭直広、加茂博士、岡田明子、今村佳樹

日本大学歯学部 口腔診断学講座

---

休憩 10:20～10:30(10分)

---

教育講演1 10:30～11:30

座長：金銅 英二(松本歯科大学)

## 「痛みのメカニズムと薬物療法」

関西医療大学疼痛医学分野 中塚映政

昼食配布 11:30～11:35

学会総会 11:35～12:10 会員の皆さんは必ず出席してください。

休憩 ポスター、商品展示 12:10～12:40

---

特別講演 12:40～13:40

---

座長：佐々木 啓一（東北大学）

## 「片頭痛－神経障害性疼痛としての側面」

慶應義塾大学医学部神経内科 鈴木則宏

休 憩 13:40～13:50

---

教育講演2 13:50～14:50

---

座長：嶋田 昌彦（東京医科歯科大学）

## 「痛み発現の統合的分子理解」

星薬科大学 薬理学教室 成田 年

休 憩 14:50～15:00

---

シンポジウム 15:00～16:45

---

〔慢性疼痛におけるグリアの役割〕

座長：岩田 幸一（日本大学）

- 1** 三叉神経節内グリア細胞と疼痛  
－サテライトグリア細胞による疼痛シグナル感作機構－  
武田 守  
日本歯科大学 生命歯学部 生理学講座
- 2** 慢性疼痛におけるアストロサイトの役割  
岡田明子  
日本大学歯学部 口腔診断学講座
- 3** 顎顔面領域の異常疼痛発症におけるマイクログリア－ニューロン連関  
篠田雅路  
日本大学歯学部生理学講座

[ セクション1. 疼痛基礎研究 ]

座長：篠田 雅路(日本大学)

**P1-1** 神経毒素成分を精製した A 型ボツリヌス毒素の三叉神経への取り込みと輸送

- 丸濱功太郎<sup>1)</sup>、松香芳三<sup>2)</sup>、山本由弥子<sup>3)</sup>、寺山隆司<sup>4)</sup>、古味佳子<sup>1)</sup>、大野充昭<sup>1)</sup>、  
前川賢治<sup>1)</sup>、上岡 寛<sup>5)</sup>、山城 隆<sup>5)</sup>、杉本朋貞<sup>4)</sup>、松下 治<sup>3)</sup>、小熊恵二<sup>3)</sup>、窪木拓男<sup>1)</sup>  
1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野、  
2) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 咬合管理学分野、  
3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病原細菌学分野、  
4) 同 口腔機能解剖学分野、5) 同 歯科矯正学分野

**P1-2** ラット咬筋圧痛における ATP, IL-6, IL-1 $\beta$  の関与

- 野間 昇、出澤 幸、中谷有香、今村佳樹  
日本大学歯学部 口腔診断学講座

**P1-3** 卵巣摘出ラットに発症させた神経障害性疼痛に対する牛車腎気丸の効果

- 山形和彰、杉村光隆、吉田好紀、瀧 邦高、丹羽 均  
大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座歯科麻酔分野

**P1-4** 温熱刺激による舌痛症患者の脳活動について f-MRI による研究

- 篠崎貴弘、森陰直広、中谷有香、出澤 幸、椎木直人、原 和彦、小池一喜、今村佳樹  
日本大学歯学部 口腔診断学講座

**P1-5** 咬合性外傷による口腔顔面痛 ― 歯肉滲出液検査 ―

- 野田隆夫<sup>1)</sup>、齋藤幸彦<sup>2)</sup>  
1) 野田矯正歯科クリニック、2) タワーサイド歯科室

---

[ セクション2. 神経障害性疼痛 ]

座長：椎葉 俊司(九州歯科大学)

**P2-1** 口腔内にトリガーポイントを有し三叉神経第1枝領域に症状を呈した  
三叉神経痛の症例

- 安藤祐子<sup>1)</sup>、山崎陽子<sup>1)</sup>、新美知子<sup>1)</sup>、富澤大佑<sup>2)</sup>、井村紘子<sup>2)</sup>、細田明利<sup>2)</sup>、川島正人<sup>1)</sup>、  
嶋田昌彦<sup>1)2)</sup>  
1) 東京医科歯科大学歯学部附属病院ペインクリニック、  
2) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科疼痛制御学分野

**P2-2** 類上皮腫による症候性三叉神経痛の2症例

- 石井裕明、土井 充、宇野珠世、山下美重子、好中大雅、大植香奈、向井明里、  
入船正浩  
広島大学大学院医歯薬保健学研究院統合健康科学部門 歯学分野歯科麻酔研究室

## **P2-3** ترامセット<sup>®</sup>が有効であったガッセル神経節ブロックによって発症した有痛性感覚脱失症の1症例

○椎葉俊司、布巻昌仁、吉田充広、原野 望、左合徹平、多田幸代、山本 徹、渡邊誠之  
九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野

## **P2-4** プレガバリンが著効した末梢性神経障害性疼痛の2例

○川上哲司、大槻榮人、宮城摩里子、桐田忠昭  
奈良県立医科大学口腔外科学講座

---

### [ セクション3. 非歯原性歯痛、心理社会的因子 ]

座長：築山 能大(九州大学)

## **P3-1** 非歯原性歯痛と誤診する可能性のある歯科疾患

○石井隆資<sup>1)</sup>、岩井 謙<sup>1)</sup>、磯田浩太<sup>1)</sup>、原 節宏<sup>1)</sup>、滑川初枝<sup>1)</sup>、荻部洋行<sup>2)</sup>  
1) 日本歯科大学附属病院総合診療科、2) 日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座

## **P3-2** 非歯原性疼痛症例に対する歯内療法医の役割

○三橋 晃<sup>1)</sup>、千枝桂子<sup>1)</sup>、市川貴子<sup>2)</sup>、原 節宏<sup>3)</sup>、石井信之<sup>1)</sup>  
1) 神奈川歯科大学口腔治療学講座歯内療法学分野、2) 日本歯科大学附属病院総合診療科、  
3) 日本歯科大学附属病院顎関節症診療センター

## **P3-3** 愛知医科大学・学際的痛みセンターで対応した非定型歯痛の症例

○牧野 泉<sup>1)2)</sup>、西原真理<sup>1)</sup>、新井健一<sup>1)</sup>、牛田享宏<sup>1)</sup>  
1) 愛知医科大学学際的痛みセンター、2) コスモス歯科

## **P3-4** 舌痛症と三叉神経痛における疼痛強度と心理社会的特徴との関係

○小原綾子<sup>1)</sup>、小見山道<sup>1)2)</sup>、飯田 崇<sup>1)2)</sup>、牧山康秀<sup>2)</sup>、西村 均<sup>2)</sup>、大久保昌和<sup>2)</sup>、  
内田貴之<sup>2)</sup>、下坂典立<sup>2)</sup>、成田紀之<sup>2)</sup>、神谷和伸<sup>2)</sup>、和気裕之<sup>2)</sup>、丹羽秀夫<sup>2)</sup>、  
川良美佐雄<sup>1)</sup>  
1) 日本大学松戸歯学部 顎口腔機能治療学講座、  
2) 日本大学松戸歯学部附属病院 口・顔・頭の痛み外来

## **P3-5** 破局的思考が慢性疼痛に及ぼす影響；口腔顔面痛患者での検討

○江崎加奈子<sup>1)</sup>、坂本英治<sup>1)</sup>、加藤由美子<sup>1)</sup>、細井昌子<sup>2)</sup>、築山能大<sup>3)</sup>、古谷野潔<sup>3)</sup>、  
横山武志<sup>1)</sup>  
1) 九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座歯科麻酔学分野、  
2) 九州大学大学院医学研究院心身医学分野、  
3) 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野

**P4-1 胸鎖乳突筋および咬筋の筋膜痛に対する運動検査の適応**

○原 節宏、我妻由梨、石井詔子、滑川初枝、林 宗廣、宮下 渉、宇塚 聡  
日本歯科大学附属病院顎関節症診療センター

**P4-2 ベル麻痺既往患者の顔面、頭部全域に及ぶ疼痛に筋膜マッサージ療法・運動療法・行動療法が奏功した一例**

○我妻由梨、原 節宏、石井詔子、滑川初枝、林 宗廣、宇塚 聡、宮下 渉  
日本歯科大学附属病院顎関節症診療センター

**P4-3 線維筋痛症の治療が開始された咀嚼筋腱・腱膜過形成症患者の1症例**

○飯沼英人<sup>1)</sup>、笠井武史<sup>1)2)</sup>、箕輪和行<sup>1)2)3)</sup>  
1)風の杜歯科、2)さっぽろ幌西クリニック・神経内科、3)北海道大学病院・高次口腔医療センター

**P4-4 他科で診断に苦慮し、依頼された口腔顔面痛症例2例**

○白田 頌<sup>1)2)</sup>、丸山貴俊<sup>1)3)</sup>、森下仁史<sup>1)</sup>、潮田高志<sup>1)3)</sup>、村岡 渡<sup>2)4)</sup>、和嶋浩一<sup>2)</sup>、  
中川種昭<sup>2)</sup>  
1)(財)東京都保険医療公社多摩北部医療センター歯科口腔外科、  
2)慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室、  
3)東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座、4)川崎市立井田病院歯科口腔外科

**P4-5 筋性顎関節症と鑑別を要した歯性感染症の2例**

○杉山健太郎、小林大輔、重松司朗  
東京都立多摩総合医療センター歯科口腔外科

# プログラム 第2日目

2012年11月4日(日)

**セミナー1** 8:30～10:00

---

[ 口腔顔面痛教育、研修の実際 ]

座長：佐久間 泰司(大阪歯科大学)

**1** 口腔顔面痛の教育、啓発への取り組み

和嶋浩一

慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室

**2** 口腔顔面痛専門医制度の確立に向けて

佐久間泰司

大阪歯科大学歯科麻酔学講座

**3** 総合討論

**休憩** 10:00～10:15(15分)

---

**セミナー2** 10:15～11:45

---

[ 口腔顔面痛診査、診断の実際 ]

座長：瀬尾 憲司(新潟大学)

**1** 口腔顔面痛診断のための筋触診

鳥巢哲朗

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野

**2** 口腔顔面痛診断のための知覚検査

石垣尚一

大阪大学歯学部附属病院

**3** 口腔顔面痛鑑別診断の進め方

大久保昌和

日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座 □・顔・頭の痛み外来

**休憩 昼食配布**(提供ファイザー株式会社) 11:45～12:00

---

## 「痛みの医療における教育と適切な情報普及の重要性」

大阪大学大学院医学系研究科疼痛医学寄附講座 柴田政彦

休 憩 12:50～13:10

---

次期大会長挨拶 13:10～13:15 柿木 隆介（生理学研究所）

---

セミナー3 13:15～16:00

---

[ 非歯原性歯痛入門 ] 座長：矢谷 博文（大阪大学）、松香 芳三（徳島大学）

### 1 非歯原性歯痛診療ガイドライン紹介

松香芳三

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 咬合管理学分野

### 2 筋・筋膜疼痛を知っていたから診断、治療できた

小見山 道

日本大学松戸歯学部 顎口腔機能治療学講座

### 3 群発頭痛を知っていたので専門医を紹介できた

坂本英治

九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座 歯科麻酔学分野

休 憩（15分）

### 4 神経障害性疼痛を知っていたから診断・治療できた

村岡 渡

慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室

川崎市立井田病院歯科口腔外科

### 5 特発性歯痛も知っておくべき

井川雅子

静岡市立清水病院口腔外科

### 6 総合討論（15分）

閉会の挨拶 16:00～

---